

研究だより



せらにし小学校研究部

令和2年 8月19日

No. 7

8月6日は、今年度第1回の授業研究（第6学年算数科「円の面積」）を行いました。授業研究を振り返るとともに、今後の方向性について確認したいと思います。

☆広島大学大学院教育学研究科 松浦武人先生より

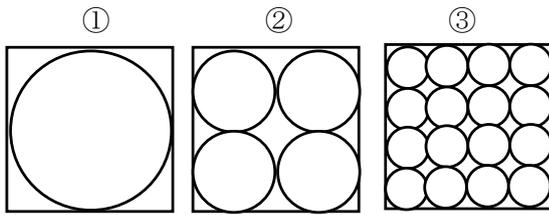
- ・チョコレートを塗るという場面を取り入れることで、現実生活の問題解決となるように工夫していた。
- ・図の中に「見える図形」を確認することで、前提を揃えた。
→「おうぎ形が見えた。」となった時、図の中に二つのおうぎ形が見えることも確認しておけば。自力解決の幅が広がった。
- ・ヒントカードが全員にあったことで、集団の場で操作することができた。
- ・本時のめあてが「面積の求め方を説明する。」ことであったのだから、図をかいたり、具体物を操作させたりするなどをさせることが必要だった。
- ・全体交流で、自分で図をかかせる場面を設定すれば良かった。
- ・コミュニケーション力→相手の実態に応じた表現力を育成しなければいけない。
- ・「複合図形を求める時にどうやった？」と問うことで、児童に既習事項をふり返らせ、「知らない図形を求める時に、知っている形にして考えた。」という統合的な見方・考え方を育成していくべき。

☆研修終了後、松浦先生に指導していただいたこと

- ・**単元の中に、統合的な考察場面を一つ仕組んでいく。**
→ものの見方・考え方の本質に気付かせていくことにつながる。
例) 前述した複合図形の場面
「～のいくつ分」・・・重さ、長さなどで同じ
えんぴつ～本分、コップ～本分
「日常生活の中で使えますか？」
※振り返りの場면을有効に使いましょう。
※「あの場面と同じだ！」ということを低学年のうちにつけていく。
- ・**表現力を育成するために。**
→低学年・・・先生がモデルになって、説明させる。
- ・**教材研究**
→学習内容の本質は何なのかをしっかりと分析する。

第1回の授業研究を受け、明日の授業から大事にしていきたいことを確認しましょう。

研究授業で見ていただいた「円の面積」の学習。単元の導入で、次のような問題を提示しました。

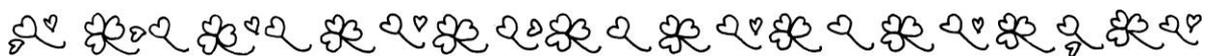


同じ大きさの箱に円の形をしたケーキが入った同じ大きさの箱が3つあります。①は、大きなケーキが1個。②は、中くらいのケーキが4個。③は、小さなケーキが16個入っています。どのケーキも厚さは同じです。先生は、『どの箱を選んでも同じ量のケーキが食べられる。』と言っています。本当でしょうか。

このような問題を見られたことがあると思います。子どもたちは、この問題を提示したとき、円の大きさやすまに着目して、現時点での考えを全員が伝えることができました。「この問題を解決するには、どうすればいい？」の問いかけに、「円の面積の求め方が知りたい。」と答えた子どもたち。この問題から、円の面積の求め方を学習していくという単元を通しての課題を立てることに成功しました。算数で学ぶことと日常とのつながりを意識させることができたと思っています。

「円の面積」は、まず、方眼紙にかかれた円の面積を、方眼の数を数えることからおよその見当をつけます。そして、円をおうぎ形に分け、それを長方形の方に変形することで既習の長方形の面積の求め方から、円の面積を求める公式を導きます。この学習を進める中で、ある児童が、「方眼の数を数えた学習と、長方形に形を変えて求めたことは何のつながりがあるのか？」と振り返りに書いていました。この時、「面積は、1cm²がいくつあるか。」で考えたことを想起させました。これが、『統合的な見方・考え方』であると、松浦先生に教えていただきました。

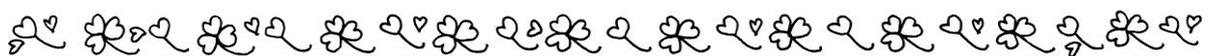
忙しいけれど、日々の授業は大事にしなければいけません。ちょっとした工夫で、子どもたちの思考は深まります。子どもたちの学力向上のためにがんばっていきましょう。



☆ 11月25日に行う授業の学習指導案について

- 起案が通っている学習指導案・・・浄書後、研究部のフォルダへ。
- 起案がまだの学習指導案・・・8月26日（水）までに研究部（山崎）へ提出。
起案後、浄書して研究部フォルダへ。

※全学級、学習指導案作成締め切りを8月31日（月）にします。



☆今後の研修予定について

- 8月19日（水） 第6学年、第2学年シミュレーション授業②
- 28日（金） 第5学年シミュレーション授業
- 9月 9日（水） 第6学年算数科提案授業【義務】
- 16日（水） 個人研修（学習発表会に向けて）
- 23日（水） 第5学年国語科提案授業【義務】
- 30日（水） 第2学年算数科提案授業【東部】
- 10月14日（水） 具体的手立ての見直し【義務】

提案授業の学習指導案は、授業日の2週間前に町教委に送ります。計画的に作成しましょう。